



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和5年5月26日（金）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	連絡先
地域スポーツ課	スポーツ交流係	中野 真夕子	内線 2619 直通 058-272-1836 FAX 058-278-2604

当日連絡先：050-5478-7787（中野）

～#GifuCanada ホストタウン交流 Project／オリンピック・パラリンピックレガシー～ 2023 ジャパンパラ陸上競技大会に向けて石田駆選手への応援動画を作成します

いしだかける

県では、「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」におけるカナダとのホストタウン交流を契機に、県内の学校と連携して、パラリンピックやパラスポーツを通じた共生社会の推進、カナダとの交流を通じた国際理解の推進に取り組んでいます。

今年6月に「2023 ジャパンパラ陸上競技大会」が岐阜メモリアルセンターで開催されることに伴い、当事業で石田駆選手と交流した岐阜市立三里小学校の生徒による応援動画を下記のとおり撮影しますので、お知らせします。

記

1 撮影日

令和5年5月31日（水） 12時50分～（30分程度）

2 場所

岐阜市立三里小学校 グラウンド（岐阜市六条北2丁目5番1号）

※雨天や強風などの事情により、当日体育館などへ場所を移動することがあります。

3 参加者

岐阜市立三里小学校 6年生 20名（有志による参加）

（令和4年10月17日 石田駆選手による講演及び陸上体験を実施）

4 内容

令和4年度に当事業において、石田駆選手と交流を行った5校のうち、希望のあった3校に参加いただき、応援動画を作成します。

なお、作成した動画は、ぎふスポ YouTube に掲載します。



5 その他応援動画参加学校

- ・岐阜市立島中学校（陸上部）

令和4年10月19日 石田駆選手による講演及び陸上教室を実施

- ・各務原市立緑苑小学校（当時5年生）

令和4年12月 8日 石田駆選手による講演及び陸上体験を実施

6 その他

- ・当日の取材を希望される場合は、5月30日(火)16時までに、社名、氏名及び連絡先を県地域スポーツ課（スポーツ交流係 中野、加藤）まで、電話（上記担当者連絡先）またはメール（下記アドレス）にてご連絡ください。

メールアドレス：c11172@pref.gifu.lg.jp

- ・当日は10分前までに岐阜市立三里小学校の玄関にお越しください。
- ・当日のお問い合わせは、地域スポーツ課スポーツ交流係中野までご連絡ください。
- ・その他詳細は、取材当日にご説明します。

【石田 駆選手のプロフィール】

所 属：トヨタ自動車

主な経歴：岐阜県各務原市出身、愛知学院大学卒業

2019年 ドバイ世界パラ陸上競技選手権大会 男子400m (T47) 【5位】

2021年 東京2020パラリンピック競技大会 男子100m (T47) 【5位】

2022年 第33回日本パラ陸上競技選手権大会
男子100m (T46) 【優勝】

2023年 第34回日本パラ陸上競技選手権大会
男子100m (T46) 【優勝】

【参考1】#GifuCanada ホストタウン交流 Project / オリンピック・パラリンピックレガシー学校連携事業

○概要

パラリンピックやパラスポーツを通じた共生社会の推進、カナダとのホストタウン交流を通じた国際理解の推進、オリンピック・パラリンピックレガシーの発展のため、県内の学校と連携した推進事業を展開します。

○実施学校

県内9校

※県内の小・中・義務教育・高等学校・特別支援学校のうち、令和5年度本事業に採択された学校

区分	学校名
小学校（5校）	岐阜市立長良西小学校、岐阜市立三里小学校、各務原市立緑苑小学校、関市立旭ヶ丘小学校、多治見市立笠原小学校
中学校（1校）	岐阜市立島中学校
特別支援学校（1校）	岐阜市立岐阜特別支援学校
高等学校（2校）	県立岐阜商業高等学校、学校法人富田学園富田高等学校

○実施内容

パラリンピアン、パラアスリートによる講演会、パラスポーツ体験、カナダアスリートとのオンライン交流など

【参考2】2023 ジャパンパラ陸上競技大会について

- ・開催期間 令和5年6月10日（土）～11日（日）
- ・会 場 岐阜メモリアルセンター 長良川陸上競技場
- ・主 催 （公財）日本パラスポーツ協会
- ・共 催 （一社）日本パラ陸上競技連盟、（一社）日本デフ陸上競技協会
- ・主 管 （一財）岐阜陸上競技協会、岐阜パラ陸上競技協会
- ・概 要 日本パラスポーツ協会と競技団体が共催して開催する国内最高峰のパラスポーツ競技大会（ジャパンパラ競技大会）のうちの一つ。
岐阜県では令和元年に初開催し、今回4年ぶり2度目の開催。
（令和元年の大会では、岐阜県出身の石田駆選手が日本記録を更新）